

2022年6月5日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第65巻第8号(通算3290号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

せいれいこうりんび れいはい
聖霊降臨日(ペンテコステ)礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 104編 33-35節

さき ばん ばん かみ かい
賛美歌 21-12番「とうときわが神よ」(©教団讚美歌委員会)

いの りたニー ページ さんしやう
お祈り(交唱)(2頁をご参照ください) みんな

せい しよ ふくいんしよ しょう せつ
聖書 ヨハネによる福音書 14章 15-18、25-27節

いの ばん せいれい くだ ぎやうだんさんびかいいんかい
お祈り 賛美歌 21-343番「聖霊よ、降りて」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ 「I will be back」 岡嶋 千宙 伝道師

さんびか ばん ゆ ゆ せい
賛美歌 21-437番「行けども行けども」(©JASRAC)

ユーカーリスト うしだ ただし ぼくし
聖餐 牛田 匡 牧師

ぎやうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゆ いの こうどくぶん
「主の祈り」による交読文

ささげもの (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく おかじま ちひろ だんどうし
祝福 岡嶋 千宙 伝道師

こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほう こう ページ さんしやう
報告 (4頁をご参照ください)

となり かんかく せき すわ れいはい さんか
《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かつ ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

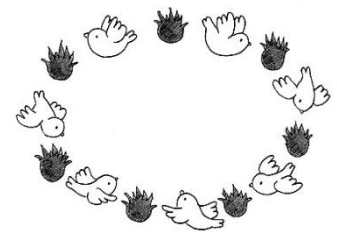
33 私は命のあるかぎり、主に向かって歌い／長らえるかぎり、わが神をほめ歌う。

34 私の思いが御旨に適うように。／私は主によって喜ぶ。

35 罪人は地から消えうせ／悪しき者はもはやいない。／私の魂よ、主をたたえよ。
／ハレルヤ。

ペンテコステのリタニー (交唱)

司式者	神さま、ペンテコステの日のように、
みんな	聖霊を風のように送り、教会を力づけてください。
司式者	神さま、初めの教会が誕生した日のように、
みんな	聖霊を炎のように送り、わたしたちを力づけてください。
司式者	戦争を続け、憎しみ合うこの世界に、
みんな	聖霊を助け主として送ってください。
司式者	どう祈ればよいのか分からないとき、
みんな	聖霊を助け主として送ってください。
司式者	聖霊が働くと、何か動き、変わっていきます。
みんな	聖霊が働くと、ちがっていることのすばらしさが輝きます。
一緒に	神さまのくださる聖霊を感謝します。



(出典：高寺幸子編『祈りのコンチェルト』2006年, 46-47頁)

聖書 ヨハネによる福音書 14章 15-18, 25-27 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

15 「あなたがたが私を愛しているならば、私の戒めを守るはずである。16 私は父にお願いしよう。父はもうひとりの弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。17 この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、それを受けることができない。しかし、あなたがたは、この霊を知っている。この霊があなたがたのもとに^aおり、これからも、あなたがたの内にいるからである。18 私は、あなたがたをみなしごにはしておかない。あなたがたのところに戻って来る。(脚注 a: 直訳「とどまり」)

25 私は、あなたがたのもとにいる間、これらのことを話した。26 しかし、弁護者、すなわち、父が私の名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い起こさせてくださる。27 私は、平和をあなたがたに残し、私の平和を与える。^b 私はこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。

(b: 別訳「私を与える平和は、世が与えるようなものではない」)

《先週のメッセージより》2022年5月29日 復活節第7主日礼拝

「人となり 他人と異なり 一つとなる」

岡嶋千宙伝道師

聖書 ヨハネによる福音書 17章 20-26節

この世での歩みの終盤、弟子の一人に裏切られ、自分の死がいよいよ現実のものになろうとしているとき。他の弟子たちと夕食をとっていたイエスは、彼らのために、また、彼らの後に続く信仰者のために、祈りの言葉を紡ぎました。

「すべての者が一つになるように」

イエスが祈り求めた「一つとなる」共同体。それは、様々な特性や背景を持つ人々が、互いに愛し愛されるという関係の中に生きる共同体です。違いは排除されません。「他と異なるから」という理由で攻撃的になることはありません。隣にいるあの人を自分の利益追求のために利用する状況に追い込まれることはありません。「生産性」「経済力」「身体能力」「知的能力」など、数字に還元される分かりやすい価値基準によって人々の存在が規定されることは決してありません。

イエスが祈り求めた共同体。それは、今、この世の中で、教会という形で存在しています。このコミュニティは、異色の輝きを放っています。愛を知らせる共同体です。愛の内に、互いを知ることのできる共同体です。違う者同士が、その違いを排除せずに、違うままで共に生きることが出来る共同体です。イエスは、この世がそのような共同体で満ち溢れ、誰一人取り残されることなく、一人ひとりが愛の内に生きることを望み、祈りの言葉を紡いだのでした。他の誰でもない、イエスの祈り。神の子、神のひとり子と言われるイエスの祈り。その祈りを、イエスが「父」と呼び掛ける神が聴いていないわけがありません。イエスの祈りの言葉は、すでに神の内において、確かに現実のものとなっています。

だから。わたしたちは、たとえ真逆の方向に突き進む風が吹きあれる歩みの中であっても、イエスが望み求める教会の姿を描き続けていくのです。人となったイエスが、異なりを持つ者たちと共に築き上げ、そして、祈りの中でわたしたちに継承してくれた共同体の内に、わたしたちはこれからも生きていくのです。互いに愛し愛されながら。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 5月29日 復活節第7主日礼拝

主日礼拝出席 大人 4名 中継動画再生数 19回
 献金 大人 4,000円 感謝

◎次週 2022年6月12日(日) 花の日こどもの日(教会創立記念) 礼拝

招きの詞 申命記 6章 4-5節
 聖書 ローマの信徒への手紙 8章 1-17節
 メッセージ「命と平和を求めて」牛田匡牧師
 賛美歌 「埋もれた宝」、こ改-96番(©P.D.)、
 こ改-34番(©塩田泉)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。
 礼拝後の愛餐会(昼食会)はございません。



◎お知らせ

- ・礼拝後に6月期の教会を考える会を予定しております。
- ・昨日3日に「縁農」(釜ヶ崎・いこい食堂支援)があり、大浦農園で今年1月に苗つけをした玉ねぎの収穫作業を行って来ました。参加者は大人6人、子ども6人でした。どうもありがとうございました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染は依然として続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・6月13日(月)19時~20時半に「日本におけるマイノリティ人権白書(ライブ版)」が開催されます(主催:マイノリティ宣教センター)。テーマは「日本における女性差別」で、登壇者は渡邊さゆり共同主事です。会場は東京にあるマイノリティ宣教センターですが、インターネットを利用したZOOMによるオンライン参加も可能です。ZOOMでの参加をご希望される方は、右のQRコードもしくは、

下記のURLより事前にお申し込みください。

<https://onl.bz/gyBBA2z>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/12	牛田牧師	(教会創立記念礼拝)花の日こどもの日
6/19	岡嶋伝道師	
6/26	牛田牧師	おにぎり支援・河内地区婦人会(ZOOM)
7/3	岡嶋伝道師	ユウカリスト?

ライブ版 日本におけるマイノリティ人権白書


「日本におけるマイノリティ人権白書2021」執筆者が、ライブトーク
マイノリティ宣教センター 共同主事が、登場します。

●2022年5月30日(月)
午後7時~8時半

テーマ 移住労働者
~宣教の取り組みとこれから~

話 デイビット マツキントッシュ 共同主事

…彼ら、彼女らを「管理対象物」ではなく「人」として扱う制度を整えるべきである。(白書p.15)




●2022年6月13日(月)
午後7時~8時半

テーマ 日本における女性差別

話 渡邊さゆり 共同主事

不可視化されている女性差別がキリスト教会内では「常識」として横行している現実に目覚める必要がある。(白書p.46)



会場:マイノリティ宣教センター 日本キリスト教会館5階52号(先着10人)
 オンライン参加(ZOOM)も受け付けています!いずれも前日までに申し込みください。


2019年11月に行われた「第3回マイノリティ国際会議」において、各国コリアンに対するヘイトスピーチ、日本における人種差別の現状が報告されました。その後、日本において反差別のうねりを挙げていく決意を教会員を超えて与えられ、2017年マイノリティ宣教センターは設立されました。この5年の間に、日本社会においてヘイトスピーチは顕在化し、差別の種は見えにくいところまで伸びています。

マイノリティ宣教センターは、重なるしごい差別が持つ精神性を限り、それを新たな転機と昇りにつなげた責任をたずね求めてうかがい続けています。2021年夏に発行した「日本におけるマイノリティ人権白書2021」は執筆した一人ひとりが経験した出来事と責任を込めて「人」として扱ってほしい、世帯を問わずで表現するライブです。「情報伝達」ではなく「人」との出会いが求められることを期待しています。22年初夏は、共同主事二人が、担当します。

マイノリティ宣教センターの活動は、賛同者の参加、協力、献金で行っています。22年度も賛同者としてマイノリティ宣教センターをお支えください。

- 個人賛助金 年間 一口 3,000円~
- ゆづり・縁農口座 00160-6-487170 マイノリティ宣教
- みずほ銀行 早期田支店普通 2382724名 マイノリティ宣教センター

お申し込み
こちらのフォームから⇒



<https://onl.bz/gyBBA2z>

主催 マイノリティ宣教センター
info@cmim.jp
東京都新宿区西早稲田 2-3-1 8日本キリスト教会館52号室